

第3回資金管理業務諮問委員会 議事概要

1. 日時：2004年3月19日（金）10時～12時25分
2. 場所：財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者：永田委員長、酒井委員、辰巳委員、細田委員、松田委員、
米澤委員、渡辺委員
4. 議題：①再資源化預託金等の運用について
②平成16年度事業計画書（案）、平成16年度収支予算書（案）
及び借入金計画（案）について
③離島対策等検討会について

5. 議事概要

※ 本議事概要では委員の主な意見、決定事項を中心にまとめており、資料に関連する質疑については後日、議事録を公表いたします。

（1）議題①について

「再資源化預託金等の運用に関する基本的考え方（案）」「再資源化預託金等の運用の基本方針（案）」「（財）自動車リサイクル促進センターの監査体制」「内部監査規程」について、資料3-1～資料4-2（含む別紙、参考）を使用して事務局から説明。

再資源化預託金等の単価は仮の数字であること、インフレ等による急激な金利変動時の対応については事後対応についての記述であることを明確化すること、資金運用にあたっては事後の評価も行うことを明記すること、監査室は理事長の直轄であることと資金管理業務諮問委員会における調査審議内容・意見も十分に踏まえた監査を行うこと、等の追記を行うとともに、今後とも世間一般にわかりやすい表現とし、添付資料にも意を用いることで了解された。

<意見>

- キャッシュフローイメージの再資源化預託金等の単価は、仮の数字であることに留意する必要がある。
- 運用戦略におけるインフレ等による急激な金利変動時の対応について、事前対応としてのインフレ連動債の活用も今後の検討課題であるが、今回の資料は事後対応についての記述であることを明確にしておいた方がよい。
- 運用成果の評価をしっかりと行ってほしい。
- 監査室は理事長の直轄であることを明記するべきである。
- 資金管理業務諮問委員会における調査審議内容・意見も十分に踏まえた監

査を行ってもらいたい。

(2) 議題②について

「平成16年度資金管理業務に関する事業計画書(案)」「平成16年度資金管理料金特別会計収支予算書(案)」「平成16年度再資源化預託金等特別会計収支予算書(案)」「借入金に関する理由書及び資金計画(案)」について、資料5-1～5-4(含む別紙、参考)を使用して事務局から説明。

既販車についての自動車登録情報等の提供を受ける台数と、再資源化預託金等のキャッシュフローイメージ上の前提である全保有台数との定義の違いを明確にすること、資金管理料金特別会計収支予算書の前期繰越収支差額を脚注で説明すること、資金管理料金特別会計収支予算書と資金計画とは資金範囲の違いにより数字が異なる部分があること、等を追記するとともに、今後ともできるだけわかりやすい資料の作成を心がけることで了解された。

<意見>

- 既販車について自動車登録情報等を取得するための台数と、キャッシュフローイメージ上の前提である全保有台数との定義の違いを明確にした方がよい。
- 資金管理料金特別会計収支予算書の前期繰越収支差額については、脚注で説明した方がよい。
- 資金管理料金特別会計収支予算書と資金計画の数字とは異なる部分がある旨の注記をした方がよい。
- リサイクル料金等の収受に関する予算計上の前提となる数値を参考としてつけた方がよい。
- 資金管理センターに係る調達結果等について、今後主なものは資金管理業務諮問委員会にも報告した方がよいのではないか。

(3) 議題③について

「離島対策等検討会の位置付けと今後の進め方について」「自動車リサイクル法における離島対策について(案)」「自動車リサイクル法における不法投棄等対策の検討の方向性(案)」について、資料6-1～6-3(含む参考資料、別紙)を使用して事務局から説明。引き続き検討していくことで了解された。

以上